



微帚記

風爐

客方六

79  
605  
6





門 7 9  
號  
卷



煨風爐 客方

- 一 茶湯約半法瓶之事 并 茶仔禮之事
- 一 當日在佛地入之事 并 庭中掃地之事
- 一 之出還挨拶之事
- 一 將茶瓶入之事 并 出立之事
- 一 中之之事 并 佛中入之事
- 一 書院之出之事 并 佛中入之事
- 一 茶湯之事 并 佛中入之事



一茶道切云石切去ナクハナク事

一飛花茶湯之奉

一菓子茶湯之奉

一海見茶湯之奉

一胡茶湯之奉

一甚天日坐茶之奉

一盆立合秋之奉

一風爐之茶湯之奉

茶座茶入飾方付格好ニテハ松ノ下  
可クハ海ノ座ノ上ノ松ノ奉

一客ニテ以時之奉

一壹庫方在浦之奉

一道安在夜ニテ以時之奉

一忌茶之方白湯ヲ以テ奉

一軸飾方在秋之奉

一盞飾方在秋之奉

一屏布也也付之奉

一花布也也付之奉

一 不審店に家并今日庵之園并大日向切取  
取らるる事 若くは法橋居智事 是也

茶湯物来スル事

一 亭子より何の茶日ノ棚下カ至下カ茶下カ別段の時カ  
又茶日ノある日ノ内トカ以茶之ニ下白紙来の時以テ  
是時ハ我名ノ忘チカケ候下ニ一礼ヲテ書何モテ亦  
以茶トセカヨシある日ノ内トカ有る時ハある日ニ際トカ有日  
ノ内何日ハ際トカ有候下トセ合シある日氏ハ際入  
ラハ忘チカケ又忘下ニ際入ノ候事ヲテ御念ハル事有  
必らる加少トテ書

一 月夜字合流の時又亭より不幾日何時何しモ山傳く  
中、此方より合流の如く下上收束の時名、且チカケ下、  
礼ヲ認テ亦遠シテ也

一 旦文、此合有連中、一、此日何時、誰收束の如く也  
此若きお代、此の如く有山の時、同及、中トカ又、  
列、此方より合流の時、下カキ、亦チ、亦色、建シテ、時  
刻、亦遠、此、スルカ、コシ、云、今、チ、時、此、下、遠、此、其、チ、  
時、非、亦、遠、シ、テ、也、也

一 物未ノ前、目録より、定、此、以、テ、的、有、山、茶、後、此、チ、亦、此、  
何、故、中、合、の、系、ト、一、礼、云、一、人

此、此、客、持、持、此、亦、前、目、録、  
礼、ナ、レ、ト、物、未、ス、ル、一、モ、アリ  
又、此、方、チ、ト、以、中、三、三、亦、亦、日、付、在、チ、キ、一、モ、亦、好、日、ノ、禮、モ、  
同、亦、此、カ、カ、ウ、ノ、一、以、之、客、ノ、方、亦、位、一、且、一、下、カ、ウ、カ、ウ、  
又、此、秘、流、ノ、道、々、々、亦、相、ナ、ト、チ、亦、中、三、三、亦、亦、ア、フ、時、ハ、亦、好、  
此、礼、以、カ、テ、也、 又、一、人、物、未、ト、亦、代、以、誰、之、氏、因、及、亦、人、ト、  
云、其、時、以、此、方、以、何、ノ、誰、彼、チ、因、及、亦、以、カ、カ、ウ、カ、ウ、  
同、三、チ、云、カ、コ、シ

一 尚、日、物、未、時、刻、不、遠、此、以、モ、同、道、シ、テ、以、キ、亦、代、以、ニ、テ  
弟、後、チ、ハ、キ、カ、ハ、亦、口、チ、カ、ン、テ、以、然、テ、ア、ラ、ハ、亦、時、宜、チ、テ  
正、客、又、ハ、キ、人、カ、ラ、一、人、宛、入、カ、コ、シ、亦、亦、時、以、亦、代、以、ハ、三、ト



一 之出年ノ時一月、立テ中儀、成ルテ此テ礼スヘシ

之ノ如キヨリ入ルニ月振は方氣ヲ付テミルカヨシ及云ル如キ  
時多様様ヲ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
一 之ノ如キ之ノ如キ、切カノ入ノ之ヲ様様云々云々云々云々  
孫ハ礼トシテホ、之ヲ様様云々云々云々云々云々云々云々  
自化等テトトク付テナキ人ナ因及スルコトアラハモ以テ云  
ニ云云テアレニトトク付テ早ク仕ヨリヨシキ人モ申入  
テ様々様様シテ置カヨシト云々云々云々云々云々云々云々  
兼テヨリ中及テ布包スル人ナラハ亦方ノ因及シテ置ケルカ  
亦日中様々云入テ置カヨシカキノ時合テトトク付合スル  
云々云々

一 亭子トトク入仕也ヘキ時ヲ申テ上流スル人相客者ハ

先西ノ下時定テ述ル時と派也云々ト云々云々云々云々

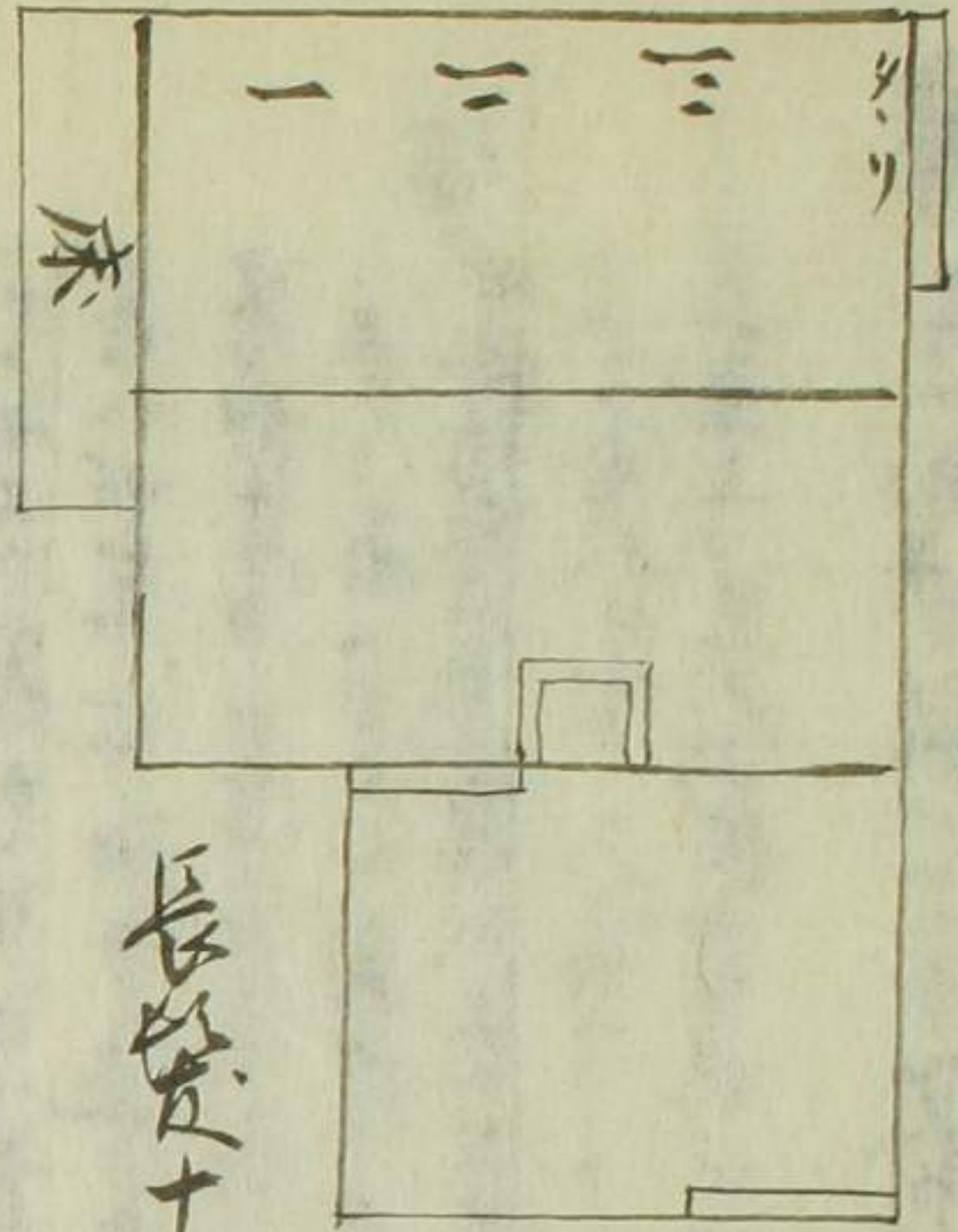
人之系カト様様ナシテカラ云カヨシ

俗名名氣者ナキ候云々  
立云々云々云々云々云々

カ強、立カケモ立ノ之は、次ノ人因テ始ルを、立テ仕也云々  
右ノ人ノ時定之次ノ人等名時人等タルナリ我友タル系  
在ノ上ハ置カヨシ云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
様様云モヨシ置キ仕ヨテカラタハ云々云々云々云々云々  
不遠様、立シ置カヨシ中及ノ時モ因及サ時砂名様ノ因サ  
モヨシ用モ使シ砂名様、小使モスルノ之子細ナシ大使スルトキハ  
別様ナリテ砂ナカキ介紙ヲ出シテ置キ上、大月サ使シ仕也  
テ又上、紙ナキ置キ上へ砂サカケ置キソシレヤウハ始カサテ有  
下、立置ヘカラヌサ様様テ置ヘシモ名ヲサ知スル如ク  
中々リカ様様アラハ、時入候ハ、立置仕也、入人シタル  
意テ概合アル所、入テ時サ置置ヘシ及云々云々云々云々  
口ナキ不、テハ概ス、立ヘシ未定ノ人等、時入ノ之様々ナラハ  
相客ハ、相水ナキカ、然、様様云々、上置  
風所ノ所、  
立置又ヘシ







ヨリ成氏之成氏を尾取也

尚日ノ礼申述又ハ常日礼也

サレハ一セリヲ云又右障子テ

長簀ナラハキリヲ云カヨシ之ニ言海

テカラニノ客ト接持は日又ニノ客ト接持スル一人ノ路

ニ之ノ礼申述テ近言チ軍カヨシ人ノ接持海花月ノ介

ヨリ時宜チ云カケルハ忍シ 始テノ人チ同クナラハ同クシ人セ付  
トトト川合スヘシモモ人申取

ナラニノ客ノ接持  
仕置ル時川合スヘシ 一色リ接持海花月時宜者惣相チ

ホムヘシ 年表表々ノノトモルルナラハ  
ヨリヘシ云ナカラナク惣相チルカヨシ 相不主ホムヘシ板取也

ノ接除又ハ改元ホアラハ列シテ接持又ヘシ 世有ニハモトモト  
一儀ニモマドモ

時布申ナラハテ接持チニテ候ヘシ因リハノニ又ヨシニ不申接持ト  
云時布申セラルシハ縁ヨヨリ料理カケテ遠テモ感スルナラハ  
又直リテ候ヘシノ際有テ料理カケテサヌ官先座ノ  
ウをトアラハ客ヨリハ直接持チ云カケテ席業ノムカヨシ世付ハ  
茶室候申合入テモ又ヨシモホムルモ忍シホクモモ同座ノ  
子細ハ世付ハ常日流業ニ申取ルナラハサヌ官先座ノ  
真ナシ流業ノ時トトト 一色リ時宜接持海花月後日炭

斗拵心火チ申又時客炉ノ傍(ホ)テ炉申チト火ノ

板子灰ノシヤウトノ氣チ付接持者ヘシ仕置、新古ナラハ



律ヲ指五人之世接接ハ明友カチ毎ク流ル方ノ一  
時空ヲ一毎ク空ク一水之空ノ空ハ中ノ空ニ  
悟上ノ家具

此ノ主合盛形ホムチ若ク久丁在ト不ノ自チ付マ足指揚枝

打テ有ハ中人此テ懐中スレ凡候ニ主加トモスヘシ此ハ昔昔事  
ハサヌ知セム

主ノ力ヘキ打左ナトテ若ク活カレ私ハ正客ヨリ自身

取テ次ヘトスヘシ吾レノ志ニ引スヘカラス是レ此合モリ飛チ去ル人ナリ  
汝ハ其時流ノムサリヲ取テ私チ付テマレ

合此者物許主ヲ私私何ニテモ正客ヨリ其時未元テ

凡仕旦元海チ去ニ徳女口ノキ下ハ若キ主ヘシ此モ昔昔事  
ナラヌヤウニト

ムカテ 汁者相ナト智ハ時候ノ内ハ喰物テヤルヘカラス  
主ヘシ

キレイニ喰仕トテヤスヘシ凡集者其名相ノ中ニ若キ相アラハ

ソレ斗チ候ノ内ニムサリニヘヌ私ニシテ私ニ智ニキス丁若カラス

昔々ニ町ニ主ノ人ナキテ  
私候主テハ入テキサヌ 主ノムコリ 合次一毎クテ流

多知ノ有ハ若ク是ナラハ不ヒ若 初候ノ酒ニ必持

知人平時候チ指直テ是レハウチ流クアロト云カコシニ

一然ハ中人ノヒト云ハ何モ之ニ 砂チ語ヘシ料理ノカケシ此色ノ  
私時トトト接接スレ

カコレ又引相ナト指カタル時ハ云ヘシ私相カ松口者ナト  
此花内候ノ私ハ此名取相アラハ引智指トモスヘシ 酒ニ飲ノ

時多クハキ者ナト指カテホニ若ク是レノ人此時モ是レササシ  
ハテハ私ニウケル



いせつに麻衣、ふり氏、居テカラ、扱相サミテ、立へし、居居、居居、内  
宮、降子チ、客カラ、ゆテ、居タラ、いかに、何、失念、ナリ、サレテ、下、如  
此、は、是、ク、リ、戸、様、合、モ、ト、ト、サ、レ、ワ、メ、テ、立、へ、し

一中之レテ、後、愈、居、る、ゆ、め、法、此、是、タ、ル、時、、控、相、勢、ナ、レ、、之、途、、此、ル、カ、シ、

折、凡、何、ニ、テ、モ、傍、相、サ、シ、テ、疾、在、ノ、飾、算、は、旦、タル、知、ロ、ク、

ス、ル、丁、モ、有、又、ク、リ、戸、チ、明、テ、探、也、シ、テ、戸、ニ、明、カ、ケ、立、キ、葉、

肉、ス、ル、モ、有、客、之、仲、以、あ、ち、内、ニ、下、氣、付、、立、也、ル、ナ、ラ、い、始、ノ、在、也、

ト、ト、云、と、い、客、リ、之、チ、立、カ、コ、レ、立、ル、チ、ミ、テ、戸、チ、明、カ、ケ、

サ、キ、ノ、戸、越、客、カラ、控、相、サ、云、カ、ル、人、有、立、也、立、也、立、也、ト、以、合、

ト、合、力、万、と、ク、様、合、モ、ナ、リ、澄、合、チ、明、ト、立、也、立、也、立、也、云、ノ、丁、

之、を、之、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、

ト、又、ル、チ、ノ、カ、ケ、テ、四、葉、月、十、ラ、い、居、居、入、下、早、ク、云、カ、ル、カ、コ、レ、是、也、

中、立、正、向、未、ノ、始、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、

十、十、格、入、カ、コ、レ、、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、

此、等、人、合、テ、入、ル、カ、コ、レ、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、

葉、肉、チ、中、マ、テ、能、相、サ、申、テ、又、相、客、之、時、立、チ、レ、テ、立、客、人、

ゆ、水、チ、セ、テ、入、へ、し、此、時、立、客、人、マ、立、ル、ト、時、立、客、人、丁、有、立、也、立、也、

立、客、人、湯、桶、也、テ、ア、ラ、い、蒸、ノ、一、方、サ、レ、テ、一、方、ノ、立、客、人、湯、チ、

立、客、人、湯、ア、ウ、ク、い、控、半、分、申、立、テ、モ、ナ、リ、テ、カ、ウ、チ、ロ、ク、立、

ゆ、水、沖、立、客、人、ラ、レ、ワ、メ、ル、時、、控、ノ、内、水、入、之、ゆ、め、立、也、立、也、

立、客、人、湯、チ、モ、ゆ、め、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、立、也、

ク、リ、チ、明、カ、ケ、立、客、人、入、テ、立、客、人、立、客、人、立、客、人、立、客、人、

立、客、人、立、客、人、立、客、人、立、客、人、立、客、人、立、客、人、立、客、人、

竹とて申すはへまへし入張居ヤウ始ノ格式

座茶トソト居テ  
先茶ノ入ルヲ

又申すは花命ミルトのゆゆ水先ト葉入ト立合懐好チ氣サ付  
高チ入テアランミんサミシテ立合飾ノ之を儀法ノ際ヤウムサ  
竹能ミルノ之申すはヤウ格細チ  
坐上ニテ中立後入整ルト云  
ノ有申式座敷ニテ入整ルノ十シ整リ名好ミノ座敷ニテハ格  
式ヨリ自然入整ルノモ有座敷ノ儀リヤウハ先ニテ居格有リ之  
ありあり也

之と茶茶也ん

物移リテ客、儀法サレロソ、心持ノトスル時客ヨリ  
ハハハモロソ、ト下拵有ヘシテ時トソト居チ  
居定ルノ世時先也ノ入ルチホノモ花入チホノテ竹トスル儀チ  
四路ノノモ有儀ミ知リタリ氏儀ノ竹トスルト、ニテ有儀ルハ  
更シテ子細儀ト下ヘハ抄居儀トニテ抄居儀トハヤト四時之ハ  
利便儀ト昔々時ハ客方ラ及見サ一儀トケテミヤウエテ更シ  
ハ右客初ムニテ上座ヘハ儀カト四ナラハ右儀タルヨリハ  
一儀上チ云テ之ハ四カヨレ抄居儀チ村儀カト居ルハ之ハ此也ノ

氣味有テヨレ名儀一切是也  
客方ラ名チサレテ四ハ更シ

水茶チホメルナラハ、茶茶也

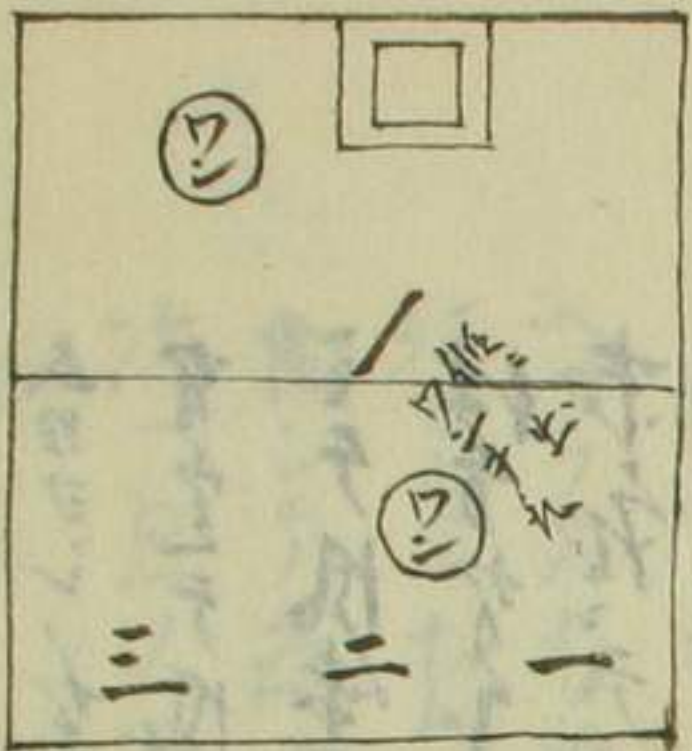
チトウスル時カヨレ茶チ茶儀入ル時拵有

ニスソヒ四  
スソヒモ

入ル時申すは、儀ハヤウ、茶チ抄拂ルト云カヨレ  
之ハ此也儀チ之儀トト云テ茶チ拵ノモ有座拵スヘシ  
茶茶也ん

か、立付ニ客ヨリテ茶儀取

二客ニシヨリテ、茶儀チ凡我トニ  
ノ客ノ方ト思儀、儀、立申儀



居定トスト居テニテ客ハ時立サレテカラ茶儀取有  
上ノムヘシ儀抄也、タラハ五テノ上ノセキ上ニ茶儀サノセ  
テ儀ヘシ、儀ハ茶チ入ル時立付又キト云拵有チ  
レタラハ二客儀チ、座、茶分サキハ先自テ取テ心レ  
アレト拵有チ云テカラ後九、目ヘシ、先カカヨレカラ  
拵有セズ、ノ得ノ長ノ拵有チキ時ハ之茶チ心サレルト云ヘキ  
ノ、此也、茶チ、執リ時、儀チ、上ルハ、更シ、拵有チ、テ、儀チ  
ト、ルカヨレ、儀、持、マ、ウ、次、儀、シ、ヤ、ウ、有、チ、ナ、レ、儀、有、也、申、ニ、テ

中流にスルヲ右トカク不為ヤウ。凡流にスルヲ左トカク不為ヤウ。此ノ時抜ノ多ク、氣ヲ付テ和室之因レホト、茶ノ色ハヤウ、ムカフテノムカヨシ、茶ヲ一口ノミテハ、是ヲ極ミシテ、破ノ年、ア先程、セラル人、有定テ、風味ヲ考ル、為ナルケレ、氏子、女、和、日、リ、ミテ、又、若、一口ノミテ、風味、スル、内、氣、息、茶、破、ノ、因、入、テ、茶、を、云、ス、ト、ア、ナリ、能、は、方、方、リ、之、ウ、カ、多、更、細、茶、セ、ス、  
ホ、ア、ハ、テ、我、斗、多、ノ、ミ、ホ、カ、レ、テ、ハ、例、一、口、ホ、ト、有、旅、シ、テ、且、ス、ナ、切、志、ク、リ、ト、思、ル、カ、無、ハ、ス、ル、人、アリ、香、臭、シ、言、れ、タ、ル、ヘ、シ、料、理、極、ト、云、ハ、ハ、心、ス、茶、ヲ、極、ト、ト、云、ミ、客、ヲ、カ、テ、飲、ト、キ、ハ、之、ノ、如、キ、ト、シ、テ、之、ホ、カ、レ、テ、年、リ、カ、ト、キ、ハ、正、客、ヨ、リ、ヒ、テ、ノ、ム、カ、ホ、ヨ、シ、極、共、ノ、有、モ、ホ、極、正、客、ヨ、リ、カ、少、少、極、テ、流、ル、ト、云、カ、ケ、レ、モ、ヨ、シ、ホ、カ、レ、ノ、ム、時、之、モ、是、極、お、付、は、定、ト、云、ハ、極、者、ア、ラ、一、口、飲、氏、之、色、カ、キ、所、ハ、且、ス、又、及、又、且、モ、ヒ、ス、ナ、ラ、ハ、正、客、ヨ、リ、又、ヒ、テ、飲、ヘ、シ、茶、ヲ、シ、ツ、フ、ニ、味、也、ト、ナ、リ、之、テ、飲、は、且、ト、モ、  
ホ、カ、レ、茶、ヲ、飲、は、且、テ、茶、旅、ヲ、ヤ、ク、正、客、  
茶、旅、ヲ、ヒ、テ、ミ、ル、ヘ、シ

ノ茶ノサレカ、並

ホ、カ、レ、茶、ノ、方、ハ、妙、子、干、白、テ、破、ヲ、云、ミ、ノ、上、ス、ル、ホ、ト、ニ、上、テ、行、ホ、ミ、テ、持、サ、レ、ハ、且、シ、且、ヘ、シ、破、ノ、カ、ケ、オ、ト、ナ、茶、ヲ、持、ハ、カ、ラ、ス、茶、旅、ノ、瓶、  
モ、氣、ヲ、付、テ、並、ヘ、シ、  
正、客、茶、旅、ヲ、ホ、取、サ、キ、コ、シ、カ、ラ

相見ト次ノ人、持持又ヘシ

破、ヲ、ホ、ミ、テ、サ、キ、コ、ホ、能、ホ、ナ、ツ、キ、テ、恰、好、位、ナ、リ、テ、ホ、メ、ナ、カ、ラ、者、也、破、月、氏、之、言、ミ、付、テ、破、ヲ、カ、ヘ、テ、先、内、サ、ミ、テ、破、ヲ、極、シ、テ、也、ノ、内、ノ、セ、行、ホ、ミ、テ、其、上、ヲ、持、茶、ノ、方、ハ、且、レ、テ、又、人、指、サ、キ、ノ、方、ハ、且、ス、ヘ、カ、ラ、ス、也、ゆ、リ、ノ、能、方、ヲ、持、テ、ミ、ル、極、ミ、サ、ヒ、子、ル、丁、者、也、宜、候、極、シ、テ、ホ、ム、ヘ、シ、凡、は、且、テ、次、ノ、客、也、ホ、直、シ、並、ヘ、シ、名、ハ、ル、破、ヲ、ラ、ハ、且、相、シ、テ、改、テ、イ、メ、キ、  
次、ハ、且、ス、ヘ、シ、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、

ノ茶ノサレカ、並

ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、  
ホ、カ、レ、テ、破、ヲ、又、ト、ノ、ト、ミ、テ、カ、ラ、及、ス、ヘ、キ、カ、ト、













シテカラ竹へシ客ニ被マテ竹花付ニモノム之節度モ茶ニテ被ニ  
室後シテ茶ヲノミ出スル之付茶候ヲトテニルヘカラスル云  
ニ又モ煮シ風ヲ付ルニシテサワトニテニカ  
日シ濃茶ノ付トテニテホムルカモナリ  
竹花付タル時ニ

炭中抄心火ヲ直ス

炭モルテ考合テ  
シテニルテ宜ク存

炭花付テ又本候

月日煮ん、在短茶候心ノ料理モ事モ心ハ合仕也テ

中々スルニシテ方ニ言ハテ事

料理ノ月日ニシテ中々ノ  
時直、被食ハ持込テモ有又

ヨリ庭へシ燃テシクリサトニ直テラハソレテ持込ヘシ夜庭ノ  
燃トホシナカラ被シロノキワヘサレハ直ヘシ付ニ客ノ事齊カ  
何ヒテモサキヘハ人ノ被テ持込物トシ合ニ居テ一月  
被カケヘシカヨシサキヘハ人燃テ持込サレテテ持込上ノ被  
ノ被ヤウニシテ仍ヘシ炉蓋ノ火加減サレテテ之付燃持込  
人ヲ込今ノマテテ被カケ、居ル月日燃テ滑テ直ヘシ

中々ニテ被食ノ以燃火加減ニ化ノ月日燃蓋火加減ニ事

付テマフん後入ノ直ニ直ニカ被テ亦凡知モアラハ被客ニ云合

テ一同ニ以カヨレ

世所燃テトホシニ客持テサキハ  
以テテ明リニ付一同ニ以ナリ

燭ヲ以テテ

キワニ有クノ上ニテ直

燭ニ直ニ有クノ上ニテ直  
クハモヨリ被食ハ直テテ直

西客ハ人モ有テ被ノ客ニ直テカラ被合居ル  
祈ナキ被ニ庭ノ内被ノ客ハ一人向キナリ、亦人味被カ一人  
ナラハ被ムレタル被ニテテ人合居ル  
カヨシニ客心セカスルカスルカ

亦直ノ客ハ以テ

燭ノ滑口ノ下ニ直テ直被ハ持込ヘカラス

直ニ客ハ以テ  
時被ハ以テ

こへスハ客ヲテ直テ直被ハ持込ヘカラス  
ナラハ被ムレタル被ニテテ人合居ル



丁之危角日不常月、以テ高代抄中ニ云ク、人愈以入之  
有別ニテ以テモ有以焼灯巻ニモ火ヲトホシ名付ノ考  
以テ入ル者也、入ル人

一 菓子ヲ蒸湯、紙版好カク版後カ以テ之何列ヲ定物未ス

丁也按式定日キ、別紙、以テ菓子ヲ云入テ何列ニ入揚敷

以合居、丁ニ云入シ、菓子ヲ揚揚海テ客由ルニテ入

菓子飾付サニテ以テ菓子スレテ常ニ蒸湯ト同列ノ菓子

客由居ニ云、何日カテ菓子、何日揚揚サハ是テモ菓子ヲ云入  
合は是列ノ菓子揚揚サ揚敷、菓子スレテ菓子作は是列ノ菓子

一 丁也按法、蒸湯ニテカラ火ヲ直ニ蒸菓子ヲ云テ、菓子ノ揚揚サ  
ハスナリ、料以テ菓子スレテ菓子

一 菓子ヲ、菓子ヲ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

下付 菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ

菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ、菓子ノ揚揚サ







式を中假しやてて同中巻居あひて抱持我下次ノ客ト  
 ノ間ト思ふ也假し主テ申先ノ客ト引テ抱持我下次ノ客ト  
 云テカラ居也テ其心ノ相持持也云テ同ノ假中抱持我下  
 スノ一曰假テ其心ト主  
次ニ客トキ方ノ持候  
チロレ主へレ 天目ヲ取  
 上テ客ノ心假テ仕旦夕時又巻ニ合テ次ノ客ノ流スへレ  
トニ主テ  
流スナリ 次ニ其心スレニ其心假仕旦テカラ正客ノ心スレ  
世附モ天目ヲ其心ノ世假ニ合カ主テ  
我ミチト引ト心テ正客ノ心へ主ニ 正客ヲ客ノ時宜云テ  
 其心引天目ヲ下レテ此レ一也定式ノ仕旦テ天目ヲ客

主巻ヲ主テ仕旦 是モ女ノ心ナリ又  
ヤウニ心引ト客 天目ヲ巻へ合テ次ノ客ノ  
 客ノ心主ニ合テ 次ニ其心スレニ其心假仕旦テ正客ノ心スレ  
 又ト引ト主テ正客ノ時宜云テ一也又下也法  
 一 盆懸ノ時茶入茶匙仕旦も其心ト引レテ正客ニ合テ  
 心引アラト下レて及也其心一也其心仕旦も定法も上ノ帛  
 ナ活テアラハ帛居も其心九レニ心引テ方ハ帛居も其心九レ  
 帛下方ハ心引ノ角トナ抱テ月介居も心引レテ次ノ流ス時モ  
 帛下心引ノ流ノ流テ次ノ人九心引也 主客へレ  
帛下心引  
主客ト引テ













こてはえへしこたうい 壺ノ早チ白へして 極こ子サセ急こ並  
ナカラあよこテ抱白していん人次へ流久時七極こシタルナリ  
テ流久こんはとテ二客言リこまへしてカラ  
こまへしてカラ  
へし始ノ極極こシテ  
今日此壺ノ水茶を下りしり也是也  
こまへしてカラ  
こまへしてカラ  
こまへしてカラ

一 炭不定之至夏并白り炭こ水

常陽ノ海テ七方ニテ七日前之 二日前チ也又へキ為炭

斗抄を上ケ炭中チ方一候退至客白こ炭  
コル所定ト流也スル之水所五ッ極抄しテ右客へ七所五チテ  
何レナリ正切也ん人也テ炭チス也  
世所ノ正切也ん人也テ炭チス也  
ナレテ正切也へ也レ炉中チニテホムレ極抄ナトスル日ニテ火ノ  
也レヤウ五又へシ炭チはヤウノ中キワ能んんと並へシ炭  
松少ク極キカコレ道々也抄  
炭は也テ早ト極抄  
ナトシテスクニ四分カケハニヤト之一分テ極抄ス也抄  
無へシカケハ也テ炭中チ方ニテ急ノ七并へ也し並  
七端チ炭中ヨリ左口也極抄ニ並合テ也抄一炭也又へシ

但此法は此の時右書へ向はしモ炭 一過りぬるキヤ 扱ト扱ト  
スルモて然

一 之火ヲ並又へキ下ニテ炭をへかテ此炭ヲ合テ炭火ヲ並ニ

一 一の扱ト云ハの時互換扱方テ後先炭中此れ下ニ云

一 之は、炭月を之仕向方 連ノ炭、是ハ此の炭、此の炭合

一 有へしト云ハ、早トノ 扱扱云ナカラ此れ下ニ但作ナト云テ次

一 台ハ此テ炭其ニ、有炭ヲ炭著ニテ炭中へ入テ入テ

一 是也、此ニ式此入扱火ヲ並又へキ 此法 此の炭中の入  
マシ半向アを危

モ此九四五して後ト云氏灰ワユルナリハ、此月 炉中キ併ニテ  
月九カ至ハノ時互ナリ自外 灰云テ扱、扱扱ナラハ死へし七端

此日也灰ナキ改ルナハ宜式ナリ

一 扱く此又時主ト此應、何レモ炭一過り山ト下ニ炭

一 斗扱ナナラハ、子付ノ此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

一 扱、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

一 此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

一 此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭  
此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

一 炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭、此ノ炭

中三後入レル時床に花入申カテ花を花子組合ノセ  
飾テアラハ客ノ所ノ仕立ト云也 床一向ク何也有ルト  
同客ノ花入ヲトクト

此レハ花子ノ  
組合モ親方ニ付

挨拶シテ又お客ト申時宜シテカラ花子入人床前へ

直リ花子を引日已組合ナトト云ニテ 花ノ組合及ケノ宜  
合ナト親方付ニ

内一花ニ心ヲ入テ  
入レヤウ致ウスルカヨシ

花子ヲ又ヘキトテ床ヲ入ルニ至レテ一様様ク  
今返クカヨシ様フリ直スヲ切テ云若

水子持テ花入ノ日一ハイニ有テ次浴ニ 此何カ以ノ口へ  
若申テ浴テ

ツクヘレ口  
同客ト云也

此花子を引日已  
申モ有レテ挨拶シ申

又夕花子使出ト云致んカヨシ 此世帯ニ  
申モ有レシ 己ハ先何レモ

少頃アト云テラハ挨拶シテ一人床前へ直リ一人 此世帯  
床ナレ

花子ニテハ指ナカラ  
此レハ侍方ナリ

心持モ組合テ持カ何レモ心懸出シテ有ト申スレテ有

少何にお客申時宜シテ何レも一人申テ床前へ直リ花

其子引日已組合ナニテ何レも一人申テ一様ニテモ

二三枝ニテモ入ル

此所の枝アリは短枝、枝分多ク、ニテ月ニカヨレ子  
細い枝思フ枝十分、枝ヲ切メノ直ニトスニ後

入人信方ナリキルナリ、依テカク月移スルノ是相宗ノ所定也  
云々、枝多クテ好む、入ん種ナラ思ヤウナク、月正ニ至ルニ

入仕号花巻い始ノ下直室布丸一房へシ

此花ノ内ハ花入へ  
水ヲキ活ニ、及ビ且リ

有りノ人水ヲウキ活、直ノ之ヲ養ノ切志  
ムノ人、始ノ終リ者直入カヌルカヨレ

相ノ人花直也(直リ)

テモサニテ布丸一房又改ノ人モテモ何モ一色リミテ

三指、氣ヲ付サカカ  
シリナキ枝、ハ切レ

相ノ花ヲ入人産茶(直リ)テ

又花サニテ始メ人、向花下レハト接接シテモ直サ

引目直花合リ花サ又キ花巻ニ直テ何ハ直サ直サ

花サ直合テ入ル

始メテアル花サモ信ニ直テナ上ハ一色入派テ直  
花、スル所有少付ハ時直ナカラ直キ接接ノ

アナルノ人  
マカク直

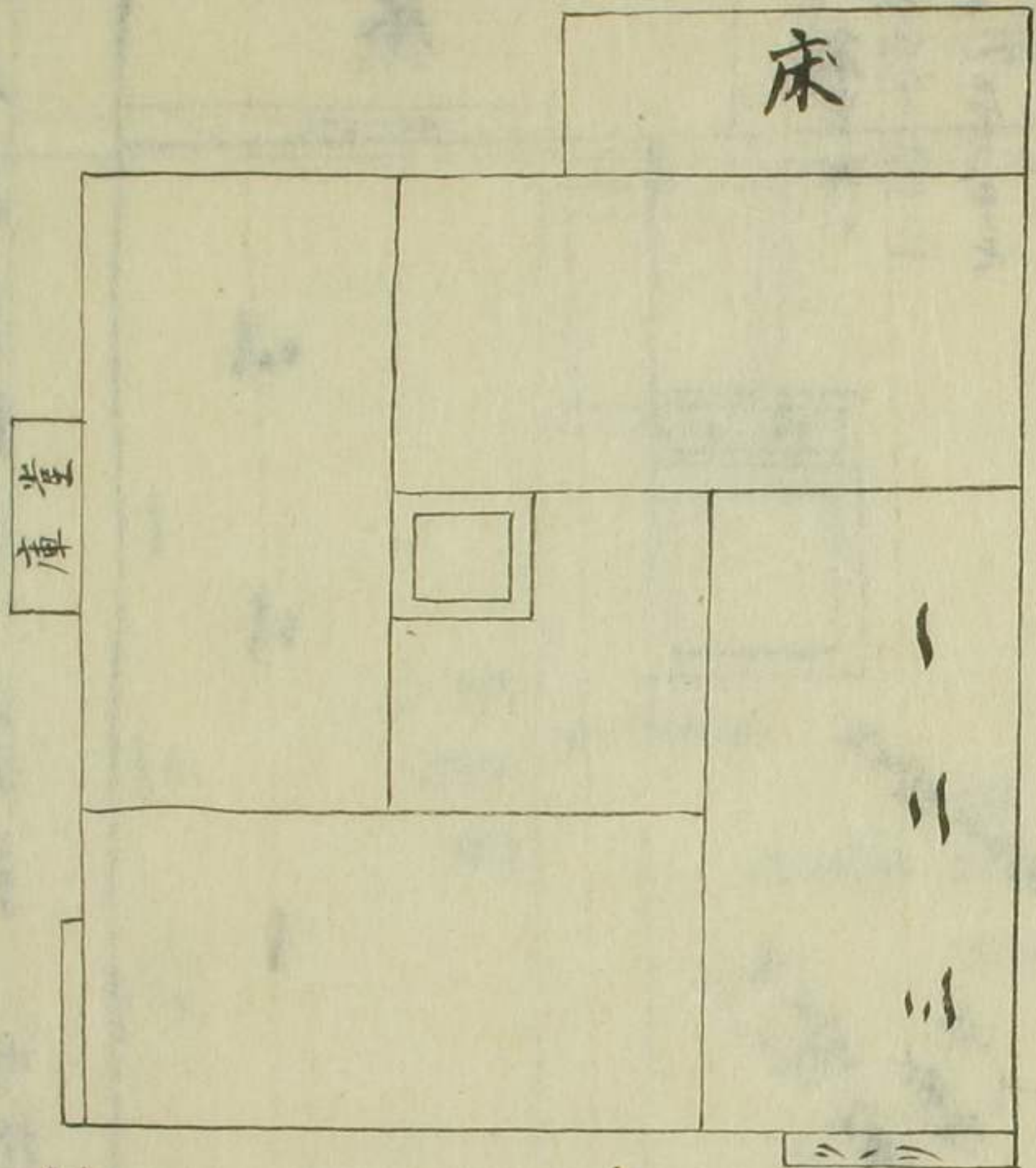
花サハ何遍ニテモ直

松林、白花直也、逢テ入ハ時茶派退散ノ時直サ

花巻ハ入ハ派、テモサ花サ揚ケ直ノ上ニ紙サシキ

テ花サ揚直キ直へシ

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page.*

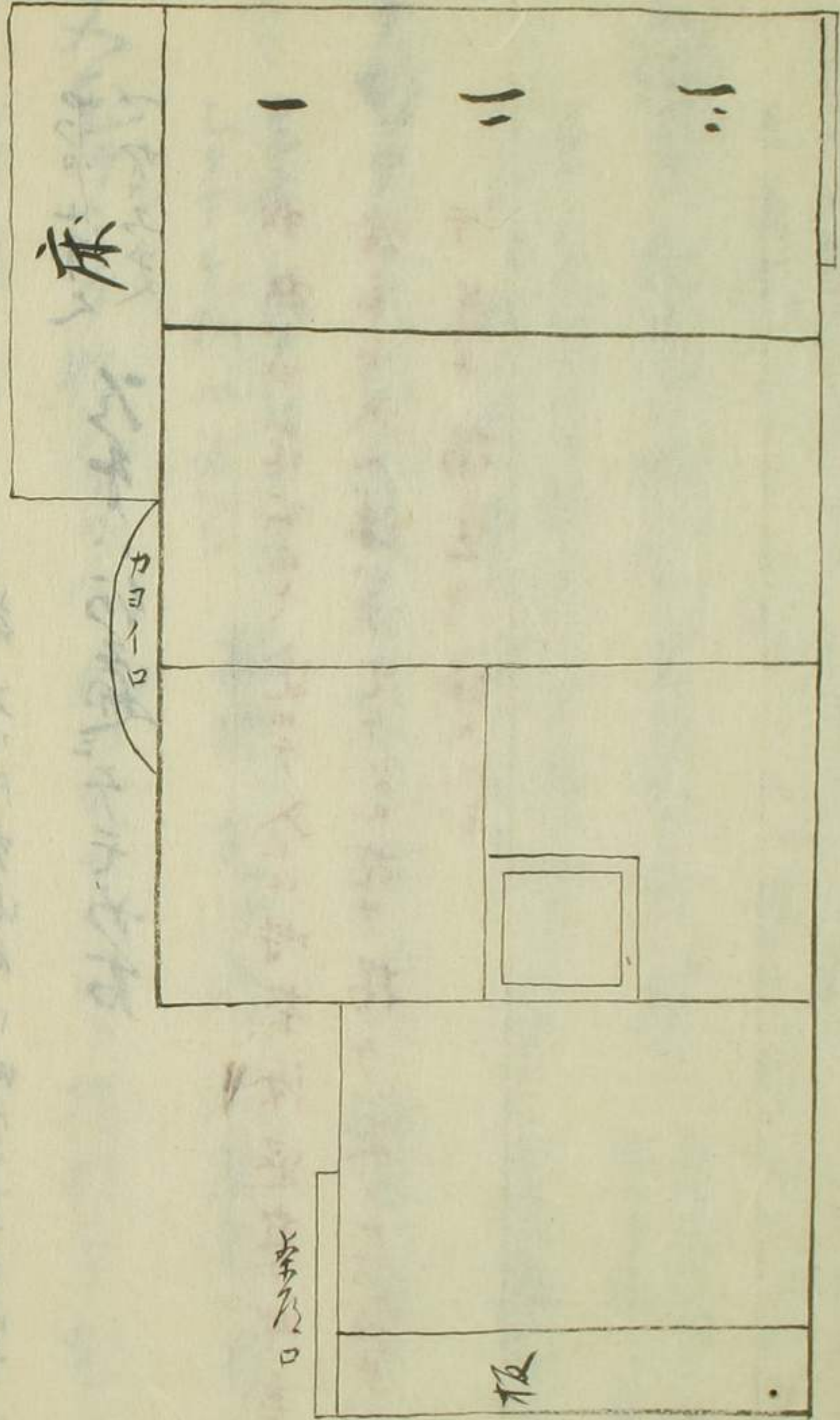


今日庵之圖

左勝手四角半之前後也、右勝手

松梅又二見い又張ナリ  
今日庵い二見い者人  
世去ノ時い又張今日  
庵取遠タル人ニ多シ  
是モ于取ナラン也

茶道口通口一ノ之



不審庵之圖

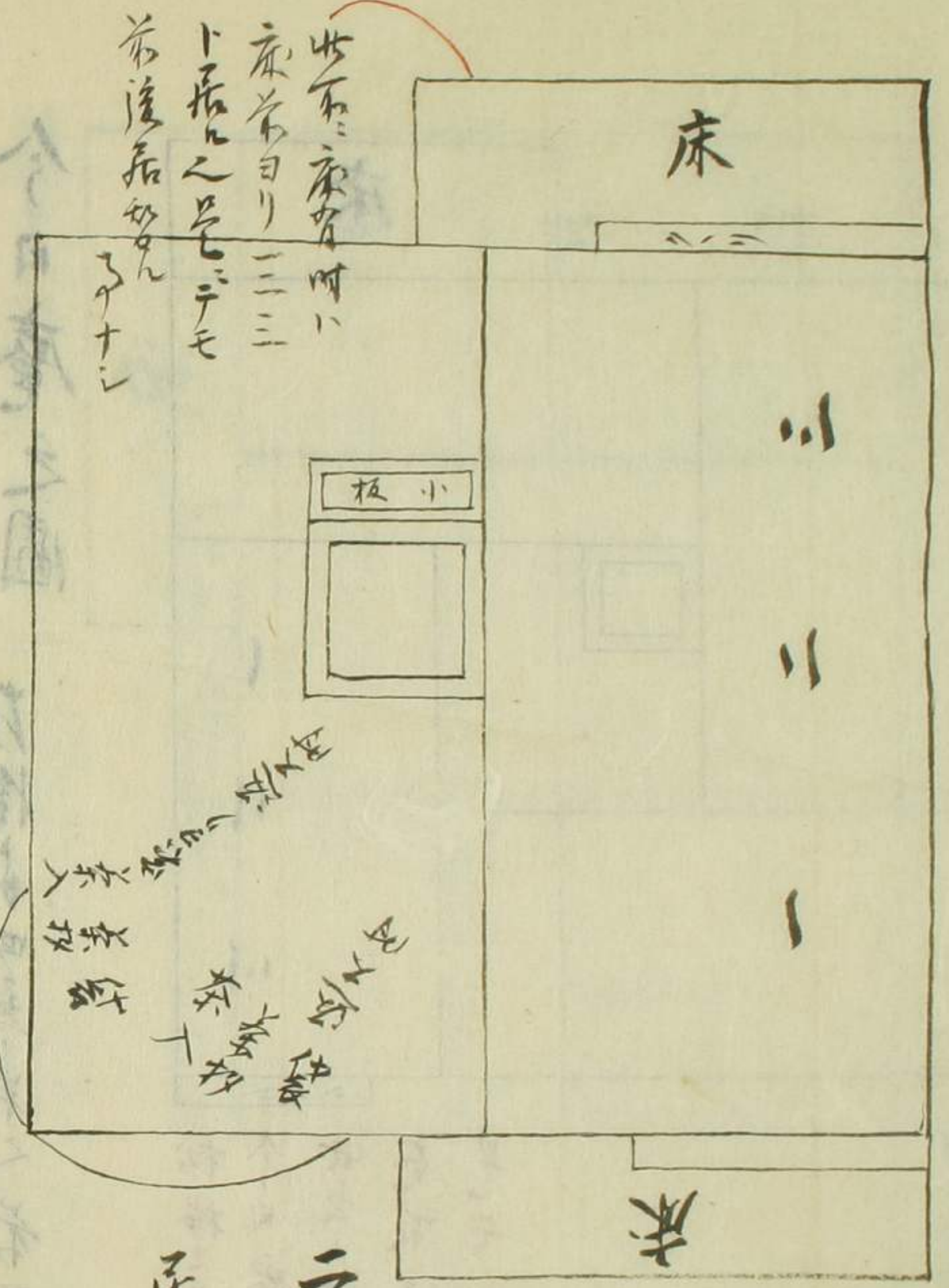
三層大目之茶存氏、振替り車ナシ

茶乃口

板

一尋半左勝手之図

但右指し  
此指し

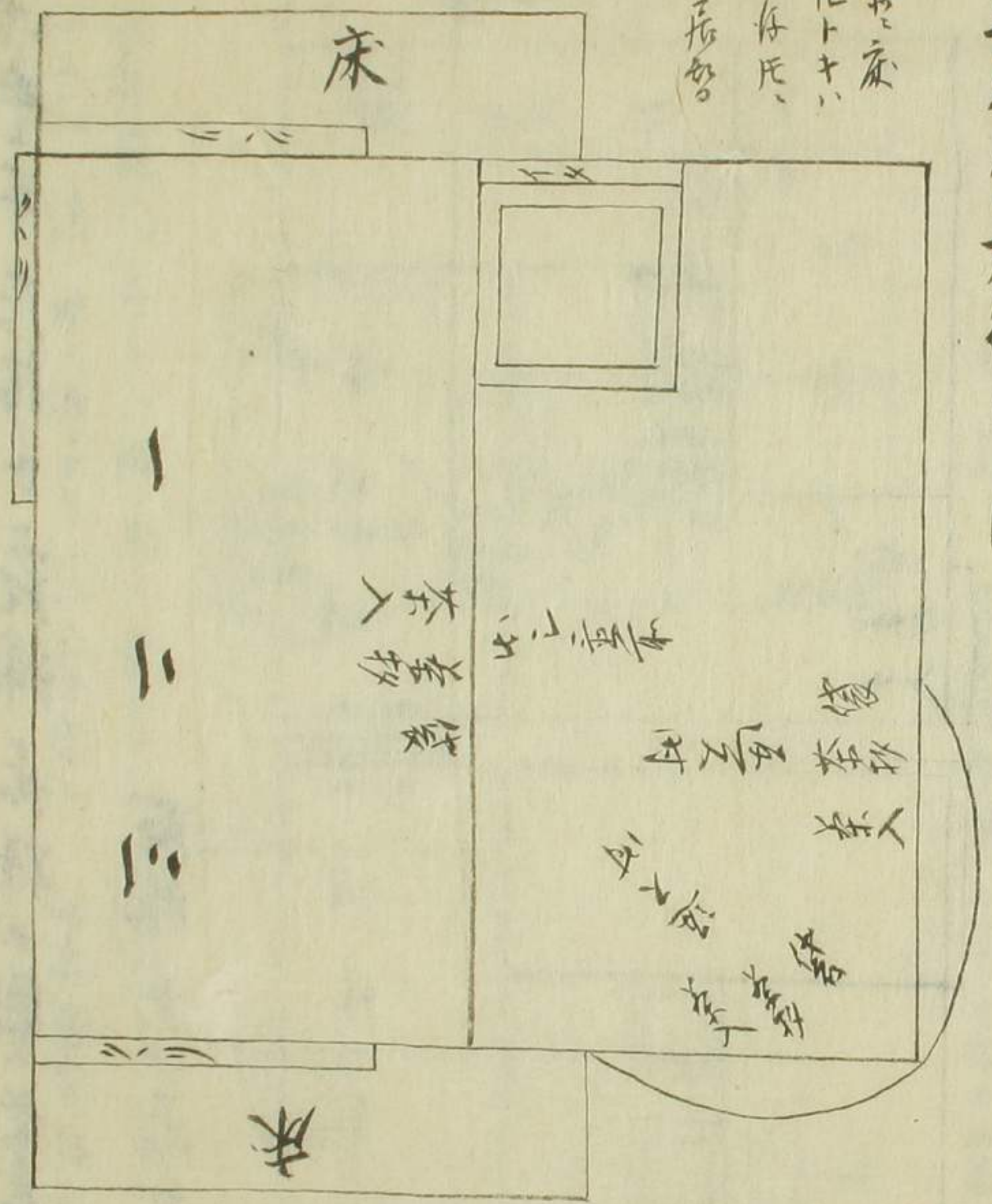


客茶後  
居知  
入、指  
ア、指  
ア、指

二尋半左勝手  
居カウモ

二尋半右勝手之図

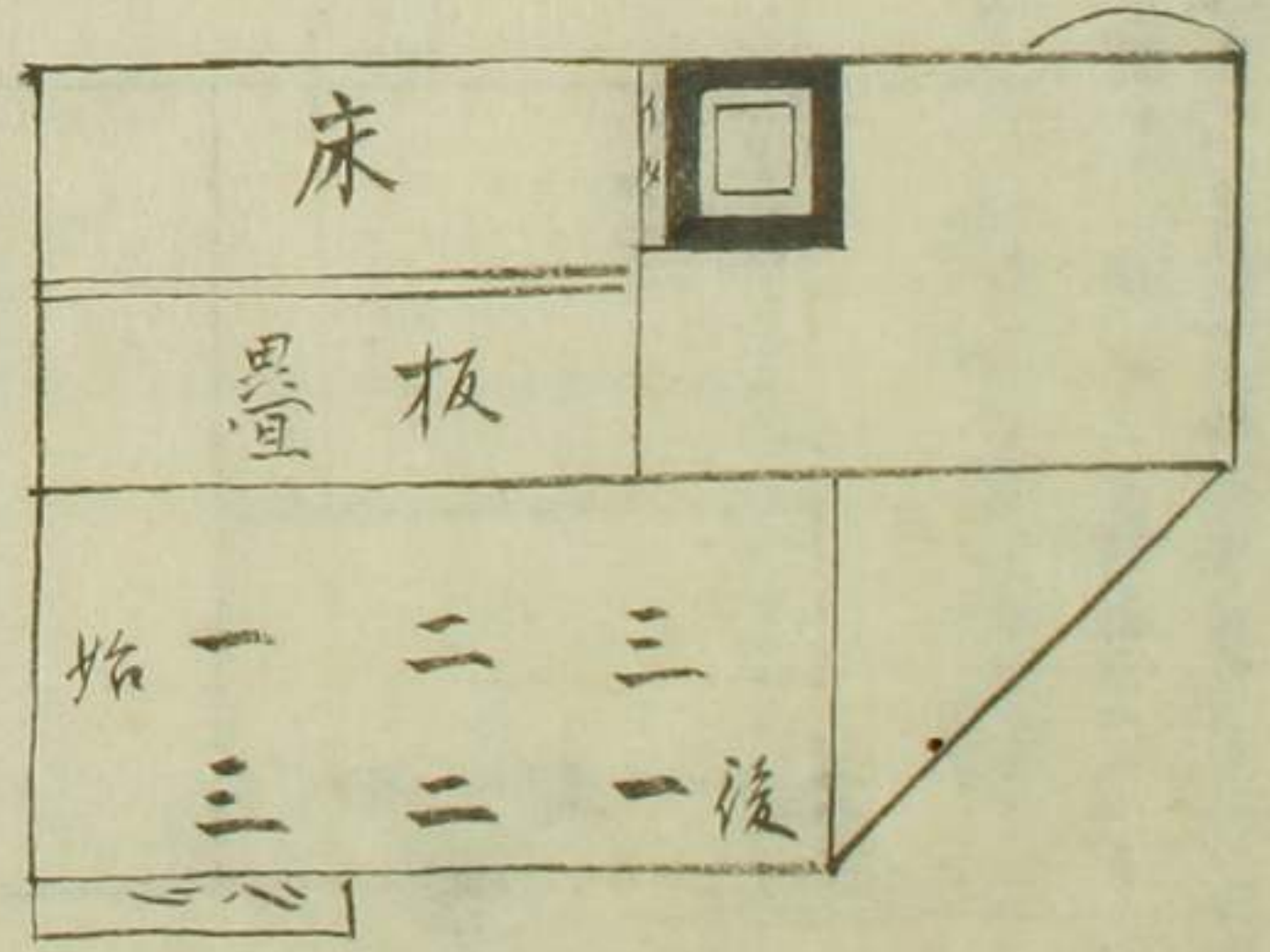
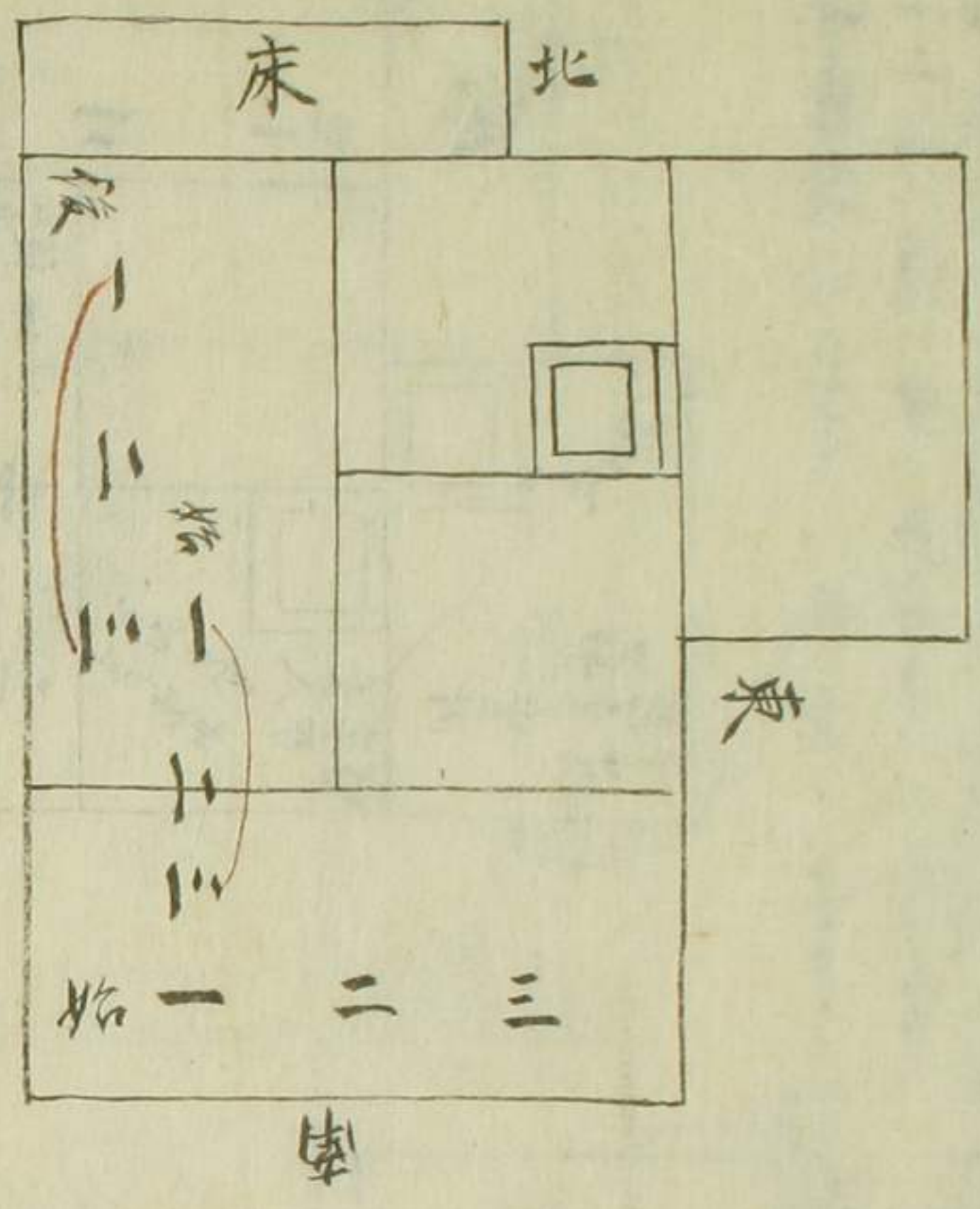
此下床  
ア、指  
ア、指  
ア、指



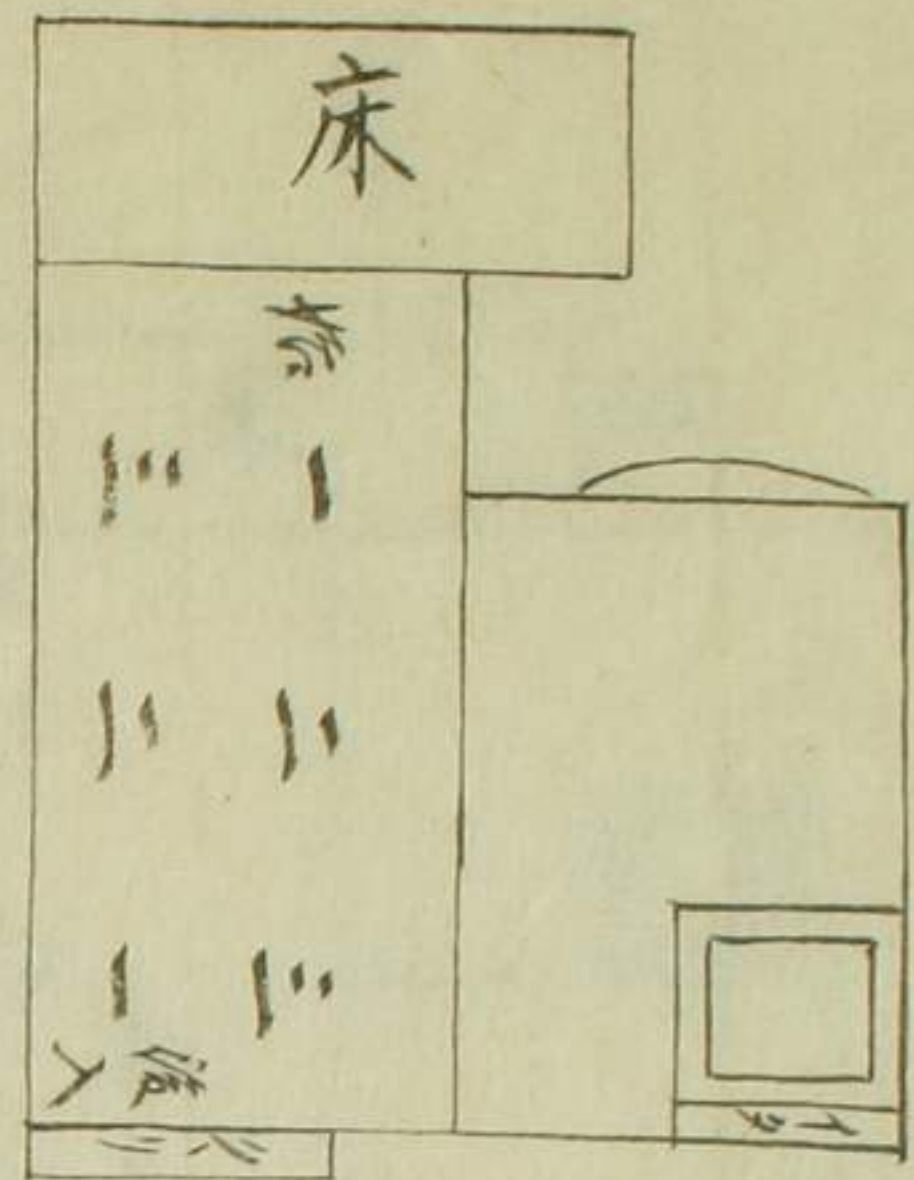
此下床  
始ハ、指  
二三ト居  
後ハ、指  
ヨリ二三ト  
居カウモ



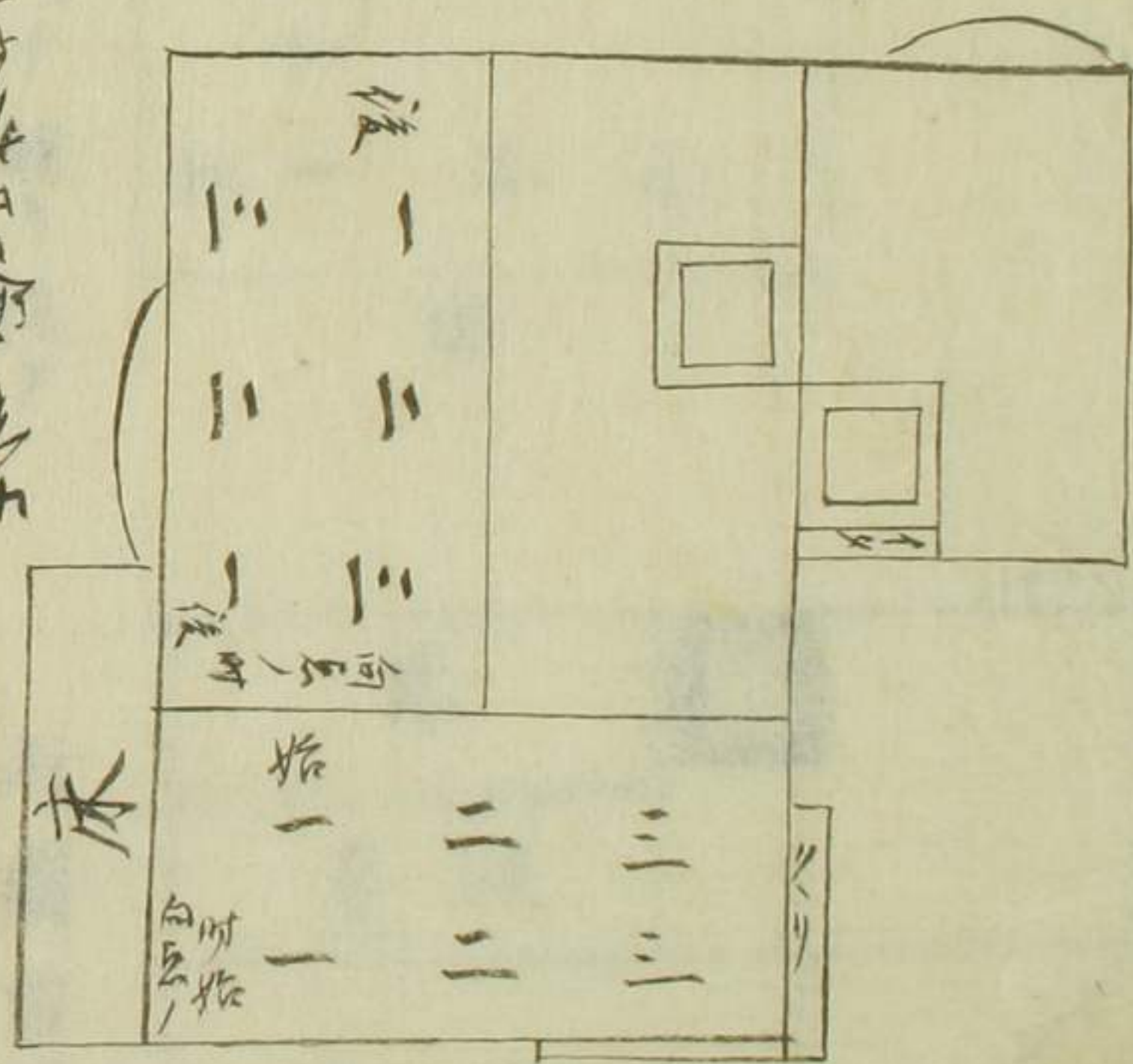
此圖古法之  
 或人ノ好之  
 不然何レテモ忌茶ノ時ハ床前カラ二三下居テ  
 南ト西側ノゆリ法ハ南側ニ二三下居テ  
 西側ニ二三下居テ可也  
 此圖古法ノ窓カ障子ニテ明リ法ノ  
 始一 二 三







いよきと口野並和



書教帛託之後

世古と自席子之類一々松尾氏宗二の

号宗二女好  
号宗二女好

帛託也これしをよりて初景の爲を要する事也

こしめは案板よりて号宗二女好の志ありと

十原史

宗二女好  
宗二女好

宗二女好  
宗二女好

活法よりて手能なりと之とて時お降て柳並の

一室ありて成以て却て由とてするしやあはれと

あはれしとて後景の始板やんとしてとて宗二

の夏にそのりれしやを久しく送る所おむのちて  
その月を月ととも尾陽の影を三人をて字  
しとそそのころけしし年日月曲令氣のつ下  
しつて世をの指南と語はむとを以てしは是意  
中あるを憂く世去のつんと此をゆりて  
着も糸は糸のつと悟りて一白のつと許され  
ころしと今東志水甲別度より既至れ始末  
あつて一紙しといひてて世をそらと樂い給

一三とそと世作りておはしとをゆりてしと  
許容ありとらやとていやはれお世と語り  
て糸の色と自ら色あしと字一並りしといふ  
はせらや令せしれしといはれ月の二つりて始  
水物よりて満二十日小二部と字して一節の糸  
其糸の秋としにしくそのゆるあや  
と除くはをとと殿  
甲別度と語れし  
実や糸乃老真分は  
宗具考の秋の年小傳して月小覚とん小傳

一 ありしとてふことく上達の人にかき書と  
 あつてあらんしとてふことく昔海の家味所事  
 了候し失忘れ候いあらん時中まむりて  
 窮ふ候中りる事あらんたれ我れ小の定實  
 小してホに秘惜せしれしと書むしや  
 只着とことく  
九月廿日卒  
行年七十五 身中りしれしと  
 いふは人の切とてやしとてやかくし  
 一 ありしとてふことく記し候ふしあせしと着

全名も小林波の

町田氏号玉茗女宗全又随流之并子宗、  
 母ノ後見享保八癸卯十二月六日卒  
行年六十三歳

流海がしと伯仲の門人おれと平々全名相も事と  
 けりしとてしりしとて化しとて附海ふゆ人  
 ことりいさ候かしてむ女人の事なるをとて傳  
 て中家の白紙ふしとていふらんこととて又中  
 尺寸の事おれとて云ふ

寶曆二年壬申十一月二日尾陽大橋氏遲松  
行年五十七執筆瀨巢窓下卜書置也

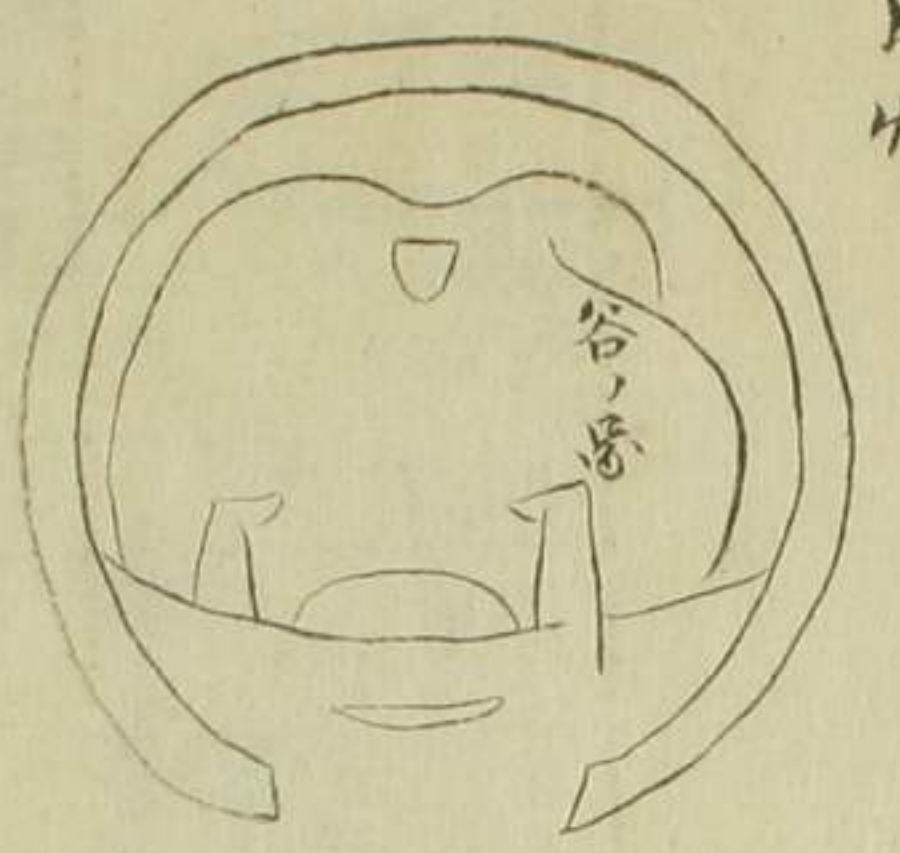
于時同十二壬午年十一月廿四日寫之終

于時明和八年卯歲二月廿八日寫之終

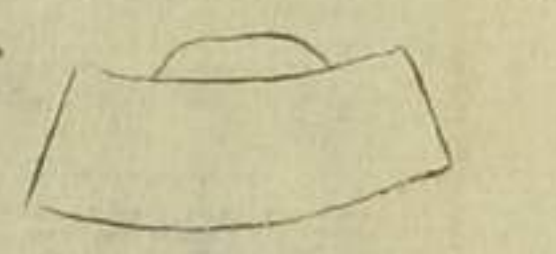
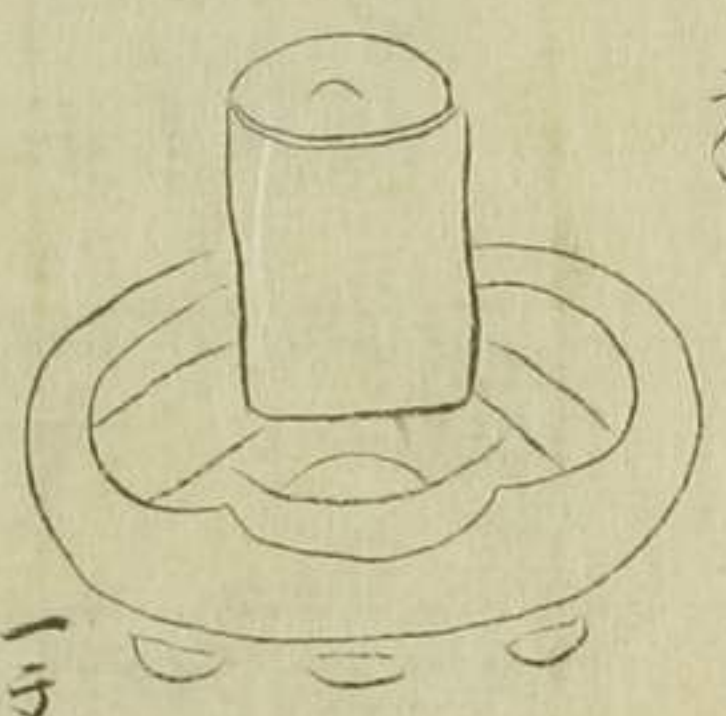
于時安永元年壬辰歲十一月廿五日寫之終

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

面風炉

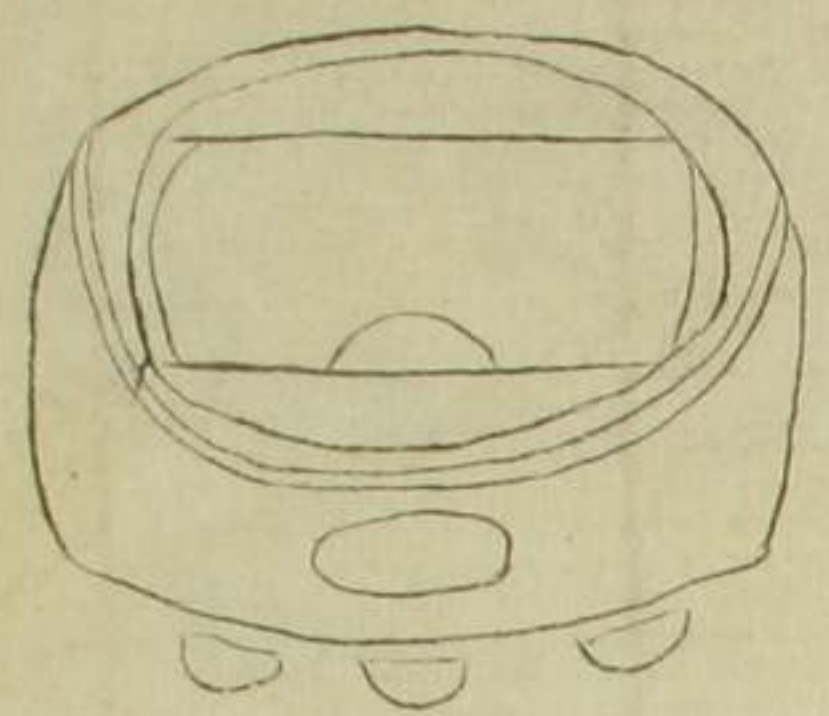


雲形



前ノ解子ノ地紙  
形ノズル白ハ  
隅を切テ山ハ相  
好ク切テ  
一文字地カ方ノズルハ京吹  
帯ノ色ニ前灰シテモ可也

真ノ風爐



前後一文字カズル横モ如オラ形カズル  
テ工風カハ付居ニ唯一カ在透ホ地紙  
風風カ好ク切テ水スモ内中ノ入ル  
ト此ハホラアテ此好ノ居カズル



